

## ◆医師の異動（9月）

医師の異動はありません

## ◆地域医療従事者研修会のご案内

### ■第298回 開放型病床生涯教育研修会

日時：平成30年9月6日（木）17：30～19：00  
会場：市立長浜病院 講堂  
テーマ：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が考える排せケア  
講師：大津赤十字病院  
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師  
日下部 桐子先生  
問合せ先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300（代表）

### ■第299回 開放型病床生涯教育研修会

日時：平成30年10月4日（木）17：30～19：00  
会場：市立長浜病院 講堂  
テーマ：在宅酸素療法～スムーズな導入・継続のために～  
講師：市立長浜病院  
呼吸器内科責任部長 野口 哲男  
問合せ先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300（代表）

### ■第4回感染管理専門コース研修

日時：平成30年9月19日（水）17：45～19：00  
会場：市立長浜病院 講堂  
テーマ：カテーテル関連血流感染  
カテーテル関連尿路感染  
講師：市立長浜病院 感染管理認定看護師  
問合せ先：看護局教育支援室 電話 0749-68-2300（代表）

## ◆選定療養費の負担が変更になります

当院は、3月に地域医療支援病院に承認されたことにより、平成30年10月1日から他の医療機関からの紹介状をお持ちでない患者さんの初診時選定療養費等の負担が次のとおり変更になります。

- 初診時選定療養費 5,400円（現行 2,160円）  
初めて受診する際、他の医療機関からの紹介状がない場合
- 再診時選定療養費 2,700円（現行 負担なし）  
当院から他の医療機関への紹介後、再度当院を受診する際に、紹介状がない場合

※初診時に「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただければ、選定療養費を負担していただく必要はありません。「かかりつけ医」を持ちましょう。

## ◆地域医療連携室からのお知らせ

最終木曜日（9月27日）はシステム調整のため、地域連携窓口業務を17時15分にて終了させていただきます。FAXによる対応は翌朝になります。  
救急患者様に関しては、救急外来での対応とさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。

## ◆第297回 開放型病床生涯教育研修会を開催しました

講師は当院腎臓代謝内科責任部長 森田善方先生と泌尿器科責任部長 横川竜生先生で、テーマは「血尿の見方～腎臓代謝内科、泌尿器科それぞれの視点から～」と題しご講演いただき、研修会には院内外から131名の参加がありました。内容はそれぞれの科の血尿から見つかる疾患や治療方法、両科の連携や当院での取り組みについてでした。

血尿は泌尿器疾患・腎臓疾患の重要な徴候で、様々な疾患の可能性がある事が分かりました。参加者からは、周りに血尿の人がいたら早期の受診を勧めたいといった意見が多く聞かれました。



## ◆◆編集後記◆◆

急に秋の気配を感じたり、暑さがぶり返したりと体調が整いにくいこの頃です。台風など災害情報も多く聞かれます。早く心穏やかに過ごせることを願っています。

Pink-Bu



ほっといとき



ナツ

救急告示病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
厚生労働省臨床研修指定病院  
周産期協力病院  
地域医療支援病院

# 市立長浜病院 地域医療連携だより

理念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

平成30年9月1日号 No.165

市立長浜病院ホームページ

<http://www.nagahama-hp.jp/>

市立長浜病院 検索

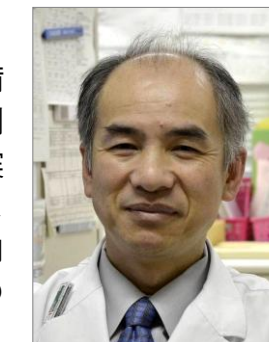


市立長浜病院患者総合支援センター 地域医療連携室  
〒526-8580 長浜市大茂亥町 313 番地  
TEL:0749-65-2720 FAX:0749-65-2730

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。9月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

## ◆当院の防災の取り組みについて

大規模災害等対策計画策定合同会議 委員長 東出 俊一



9月は防災月間です。いつ起こるかわからない災害に対しては、日頃からの準備が必要ですが、それを再認識するよい期間です。大規模災害としては、色々な事例が考えられますが、当院が属する湖北地域災害医療体制検討会では主に大規模地震を想定しています。湖北地域の種々の医療機関、行政機関がうまく連携をとれるように活動マニュアルを策定しています。それに基づくと、災害発生から3時間以内をphase1とし、職員の病院への参集、病院の機能状況の把握、およびその情報の外部への発信、地域の災害状況の情報収集が必要です。その後、災害発生から3日以内をphase2とし、院内の管理、救護班の派遣、域外からの救援・援助の受け入れ態勢の構築が必要となります。基本的に、自己完結型の院内に限定した医療活動となります。このためには、緊急連絡網や相互支援体制を整え、3日間の薬剤、食料の確保計画が必須となります。また、外部との通信手段の確保が非常に重要となります。あまり知られていませんが、当院にも衛星通信機能があります。

また、滋賀県には原子力災害マニュアルが策定されています。原発隣接地域として災害時の対応を示したもので、当院は原子力災害医療協力機関として参画しています。主な役割としては、近隣住民の被ばくスクリーニング検査や医療相談、被ばく汚染の有無を問わない救急救命処置、被ばく汚染を伴う傷病者の救急対応となっています。この計画に基づき、昨年度より模擬患者さんを使った、実地訓練を行っています。

上記の2項目を柱として、当院の大規模災害等対策計画が策定されています。平成27年に新築された救急センターを中心として、大規模災害時の院内組織の見直しをはかり、設備の追加、更新に気を付けています。また、人員の育成が何より重要な課題で、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等の医療職員は勿論、事務職員の参加も重要であり、各位のご協力をお願いし、技能向上、防災に対する意識の向上を目標にしています。

皆様の一層のご協力をよろしくお願いいたします。



## ◆防災の取り組み紹介

### 事務局 災害時における病院施設の安全確保及び病院としての機能維持

- 1 災害時における患者等及び病院施設の安全確保  
○災害時において、患者さん及び来院者の方の安全を確保するために、各病室に避難経路を掲示するとともに、患者さんなどを迅速に安全な場所へ避難誘導できるよう毎年訓練を重ねています。  
○院内の防災設備、消防設備及び非常用自家発電設備が、いざという時に間違いなく作動するよう、年間2回以上、有資格者による点検を実施しています。  
○公立病院として、長浜市、滋賀県が主催する総合防災訓練へ積極的に参加することで緊密に連携し、相互に情報を交換できる体制を確保しています。
- 2 医師、関係スタッフの体制  
○医師やコメディカルなどの関係スタッフは、「非常事態発生時の体制マニュアル」に基づき初動時へ対応するとともに院内に自衛消防隊を組織するなど、大規模な災害が少しでも減災となるような体制を整備しています。  
○災害発生後において、病院機能の立ち上げや回復を早急に行い継続的に診療にあたるよう、病診連携、病々連携を基本とした「事業継続計画（BCP）」を盛り込んだ防災体制マニュアルを策定します。



平成29年度  
消防訓練の様子

### 医療安全管理室 日頃から安全を考えた行動を！

医療安全管理室は、医療安全に関すること、感染管理に関すること、患者相談に関することについての業務を行っています。

医療安全としては、患者さんの安全を守るため、職員向け危険予知訓練を行っています。いつ災害が起こるかわからないため、少しでも被害が最小限になるように、有事時に備え日頃から、整理整頓、機器の固定などの活動支援を行っています。今後、災害を想定した危険予知ができるスタッフ育成に繋がれる様に努めたいと思います。

感染防止対策としては、日頃より、清潔・不潔についての知識・技術を身につけ、ライフラインが途絶えた時には、限られた資源を有効に使用し、臨機応変に対応できるようにスタッフ育成に心がけていきます。また、職員一人ひとりが健康管理を行うと共に、感染症の媒介者とならないようにワクチン接種などを行い、病院職員として十分に力が発揮できる体制づくりを行っています。

### 医療技術局 医療技術局の防災の取り組みについて

医療技術局の防災の取り組みについては、年一回行われる消防訓練に各部署より代表者数名が参加しています。また、各部署で防火防災訓練を実施し、日頃から防災意識を高めるよう取り組んでいます。

特別な取り組みとしては、福井県の原子力発電所から長浜市がUPZ（半径30Km）圏内にあることから、滋賀県と合同で長浜市、高島市が隔年に原子力防災実働訓練を行っています。

平成29年度は、若狭湾沖を震源とする地震により、美浜発電所の原子炉から放射性物質が放出された想定で訓練が行われ、関係機関により避難中継所での可搬型ゲートモニタを活用したスクリーニング、安定ヨウ素剤の服用確認、救急患者の搬送等が行われました。

当院は初期被ばく医療機関として、被ばく医療の実施、また、消防救急車両による救急患者の受け入れ訓練を行いました。訓練は、医師、診療放射線技師、看護師、事務職員等を含む原子力災害チームで対応しましたが、放射線の専門職として、診療放射線技師が中心となり、エアータントを張ってのスクリーニング検査および除染、受け入れ救急患者の汚染拡大の防止などを行いました。



救急患者受け入れ訓練



エアータントでのスクリーニング訓練

また、公益社団法人滋賀県放射線技師会が、滋賀県より緊急被ばく医療人材育成事業の要請を受け、「放射線の人体への影響」、「原子力災害医療について」、「原子力災害におけるスクリーニング法」等の研修会を行っており、当院のほとんどの診療放射線技師が受講しております。この研修会は、年3回行われる予定でどなたでも参加できます。ご興味のある方は当院放射線技術科までご連絡ください。

平成30年度は、8月26日（日）に高島市で開催されました。当院からも訓練を視察し、次年度に向け充実した訓練が行えるよう準備したいと思います。

### 看護局 看護局の防災の取り組みについて

看護局は、毎年病院の防災訓練に加え、各セクションがそれぞれ計画し、防災訓練を行っています。さらに昨年は、各セクションごとにアクションカードを作成し、看護管理者会において災害の机上シミュレーションを行いました。以前は看護局の業務医員会の一つである災害対策検討会として活動していましたが、現在は大規模災害等防災対策計画策定委員会として病院組織委員会の目的に準じて看護局の具体的な目標を立て実践しています。今年度に入り、立て続いて大阪北部地震、隣接市を襲った竜巻、更に7月の西日本豪雨等の災害がありました。

私たち看護師は患者さんの一番身近な場所において、災害等の急変時に第一線として活動する必要があります。いつ起こるかもしれない災害に対して病院はどの様に動き、看護師はどうやって患者さんを守るのかを一人一人が常に意識して動けるようにしていきたいと考えています。

### 長浜市 地域防災力の強化への取り組み（防災危機管理局）

近年、土砂災害や河川の氾濫をはじめとする自然災害が多発しており、これらの災害に迅速に対処するために、地域防災力の強化が求められています。本市では、災害時に関係者が連携して迅速・的確に対応できる体制の確立と、市民の防災意識を高めることを目的として、毎年、10月第3日曜日に総合防災訓練を、11月には原子力防災訓練を実施しています。これらの訓練では、大規模地震による災害発生時に市と防災関係者、市民がとるべき措置を実践し、訓練参加者の災害応急対策の習熟、災害応援協定機関（自治体・事業所等）との連携強化を図っています。

本年度の総合防災訓練は、10月21日（日）午前7時に柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震源とする大地震が発生したとの想定で、市防災行政無線による訓練開始の告知後、市内全域において、自治会（自主防災組織）による避難訓練や防災活動が実施されます。午前9時からは長浜市立びわ北小学校を会場に、防災関係者による総合防災訓練を実施します。市内医療機関との連携として、湖北医師会、長浜赤十字病院、市立長浜病院及び長浜市立湖北病院に防災訓練実行委員会に参画いただき、応急救護活動訓練として、医師・看護師と湖北地域消防本部等の関係者が連携し、火災・倒壊家屋や土砂による埋没車両から救出された負傷者への救急医療活動を実施していただきます。

そのほか、地域防災力の主体となる自治会での自助・共助による『地域で減災』の取り組みを支援するため、草の根防災体制育成事業による防災関連資材の購入補助、年間を通じた防災出前講座や地区別の災害図上訓練を実施しています。

### 米原市 防災情報は「各戸」から「個人」へ

米原市では、市民みなさんのさらなる安全で安心な暮らしを実現するため、新たに携帯電話通信網を利用した防災情報伝達システムを構築し、運用を開始しました。

この新たな防災情報伝達システムでは、屋外スピーカーによる一斉放送のほか、これまで個別受信機で「各戸」にお知らせしていた防災情報をスマートフォンや携帯電話（フィーチャー・フォン）、タブレットを通じて「個人」に防災情報を伝達することができるようになりました。

スマートフォンなどに「米原市防災アプリ」をインストールすると、市からの災害情報や緊急情報のほか、市や自治会からのお知らせを音声と文字で受信することができるようになります。市では、この防災情報伝達システムの活用を通じて地域の防災力の強化につなげてまいりたいと考えています。

#### 【防災情報伝達システムの特徴】

- 特別な領域の通信網を利用することにより情報を確実に伝達できます。（伝達）
- 外出先でもスマートフォンなどで情報を受信できます。（受信）
- 市内に住んでいない人でもアプリをインストールして米原市の情報が受信できます。
- 自治会長（災害対策連絡員）に専用タブレットを配布し、外出先からでも自治会放送ができるようになりました。

### 湖北地域消防本部 湖北地域消防本部における大規模災害時の対応について

湖北地域消防本部の管内で大規模な災害が発生し、当消防本部の消防力では対応困難と判断した場合、他の消防本部に応援を求める体制が整えられており、災害の規模に応じて適宜応援要請の判断を行います。

- ①消防相互応援協定に基づく近隣消防本部の応援  
（滋賀県内消防本部 2本部、県外消防本部 2本部）
- ②滋賀県広域消防相互応援協定に基づく滋賀県内消防本部の応援
- ③緊急消防援助隊による県外消防本部の応援

特に③の緊急消防援助隊については、大規模な地震・風水害等の災害により地元の消防力では対応できない災害が発生した場合、総務省消防庁により事前に計画された出動計画に基づき、計画で定められた都道府県の消防本部が応援出動することとなっています。最近の災害で記憶に新しいのが「平成30年7月豪雨災害」で、当消防本部においても緊急消防援助隊の滋賀県大隊として岡山県倉敷市真備町に出動し人命救助活動を行いました。

湖北地域においても大規模な災害の発生に備え、医療機関を含む関係機関はシミュレーションを充分に行っておくことが、迅速かつ的確な対応を図るうえで重要であると考えています。



米原市防災アプリ



画面付戸別受信機（専用タブレット）



岡山県倉敷市真備町尾崎地区における緊急消防援助隊集結・活動状況